

景観配慮協議申出書

令和3年12月28日

(宛先) 鎌倉市長



届出者 住所 [Redacted]
 氏名 岡崎 和彦 [Redacted]
 電話 [Redacted]
 住所 南足柄市塚原2709番地1
 代理人 氏名 株式会社 大東 代表取締役 石川 智弘 [Redacted]
 電話 0465-70-2703

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	産業複合地		
景 観 地 区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設 計 者	住 所	東京都台東区上野7丁目6-11	
	氏 名	東建コーポレーション株式会社 渡邊 祥平	電話 03-5806-5800
行 為 の 場 所	地名地番	鎌倉市 台四丁目1088番1ほか5筆	
	用途地域	準工業地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (第三種高度地区)	
行 為 の 種 類	建 築 物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input checked="" type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input checked="" type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行 為 の 期 間	着手予定	令和4年2月10日	完了予定 令和4年3月22日

(裏)

建築物の概要	用途	長屋 (1棟・8戸)				
	最高の高さ	7.674 m	階数	地上 2 階 地下 階		
	構造	木造				
	敷地面積	581.36 m ²				
	建築面積	233.47 m ²	届出以外の部分	m ²	合計 233.47 m ²	
	延べ面積	457.10 m ²	届出以外の部分	m ²	合計 457.10 m ²	
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m <input type="checkbox"/> その他 m				
概要	色彩の変更部分とその面積		面積 m ²			
	仕上材	屋根	コロニアルクアッド	色彩	屋根	ブラック 10R 3/0.5
		外壁	防火サイディング		外壁	ブラウン 7.5YR 7/3 ブラック 5YR 3/1 ホワイト 2.5YR 9/1
開発行為の概要	開発区域の面積	581.55 m ²				
	行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²) その他 (長屋一棟新築に伴う造成工事)				
	行為の内容	切土 (80 m ³) 盛土 (481 m ³) その他 ()				

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例: 日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	閑静な住宅街
まち並みの連続性	低層住居が建ち並んでいる
周辺建物のデザイン	街並みに適したデザイン
眺 望 景 観	一方を除き低い建物に囲まれており見通しが良い
景 観 資 源	近辺をモノレールが通っている。

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	◎	道路から遠く隣接住居の日差し確保に努めた配置
形 態 意 匠	◎	シンプルな形状である
色 彩	◎	基調色は基準値内の色を採用する
建 築 設 備	◎	建物背面等通りから見えない箇所に設置する
外 構 緑 化	◎	植栽の種類を多用し配置も偏らないように植栽する

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成	◎	最低限の造成のみ行う計画
擁 壁	◎	コンクリートブロックについて化粧ブロック採用
敷き際・緑化	○	通りから見える位置にも緑地を設ける